

わかりやすいプロジェクト（国会事故調編）

国会事故調報告書を、イラストと動画でわかりやすく。

わたしたちのミッション — 国会事故調を出発点とし、世代を超えて「社会のシステム」を考える機会を共有する。

1 6本のイラスト動画で、事故の全体像がわかる

専門知識がなくても理解できるよう、平易な言葉とイラストで一つひとつ丁寧に解説しています。

1

国会事故調ってなに？

国会に事故調査委員会が生まれた経緯と役割

2

事故は防げなかったの？

事故前にあった兆候と教訓

3

原発の中でなにが起こっていたの？

発生直後、現場で起きていたこと

4

事故の後の対応をどうしたらよかったの？

事故後対応に残された課題

5

被害を小さくとどめられなかったの？

被害拡大を防ぐ可能性はあったか

6

原発をめぐる社会の仕組みの課題ってなに？

制度・社会のシステムに残る課題

2 私たちについて

- **2012年9月** 発足。国会事故調報告書の作成に携わったメンバーと、学生・社会人が始動しました。
- **2013年～** イラスト動画・ストーリーブックを制作・公開。
福島県立福島高校をはじめ、全国の高校で輪読会・勉強会・対話活動を継続しています。
- **メディア** 日本経済新聞、朝日新聞、NHK、河北新報など、全国紙・放送で活動が紹介されてきました。
- **現在** 社会人、高校生の多地域連携による防災等、社会づくり教育プロジェクトにも活動の場を広げています。

MESSAGE — ご来場のみなさまへ

国会に設置された東京電力福島原子力発電所事故調査委員会（国会事故調）の報告書の内容を、イラストと動画でわかりやすくお届けします。事故の背景や教訓を通じて、原子力防災や社会のリスク、事故後の社会づくりに向けて求められることについて、中高生から社会人まで、世代を超えて一緒に考える機会になれば幸いです。
ぜひこの機会にご視聴ください。



会期中、オンラインブースで動画を配信中

QRコードから イラスト動画一覧 (naiic.net/iv) へアクセスできます。

ぼうさいこくたい2026 | 鳥取県立美術館ひろば ほか | ブース番号 BO-09

Web: naiic.net | X: @Naiic_Simple | Facebook: facebook.com/pseofnaiic